

公共施設マネジメント・民間委託

松本 義明 議員

質問

昭和40年代～60年代に公共施設が集中的に建設され、今後一斉に更新・改修の時期を迎える。そこで公共施設マネジメントを導入した背景と今後のスケジュールは。

市長

公共施設に求められる機能や役割、規模、数量を見直し経営的視点で管理運営していく。今後、基本方針、再整備計画、維持管理計画を策定して、平成29年度から具体的な事業計画を基に進めていく。

質問

公共施設の民間委託は、市民サービスの向上と経費の削減の両立が大きな目的である。民間委託の基本認識と取り組み状況は。

企画部長

財政の健全化に向けた取り組みであり、民間事業者のノウハウを活用して市民サービスの向上につなげることができると認識している。文化創造アトリエ（アミーゴ）をはじめとする多数の施設や事業に導入しており、効果額も多額である。今後、検討に留まらず、積極的に導入を進めていく。

質問

民間委託の検討を加速化していく社会教育施設における基本方針と民間委託の検討状況は。

生涯学習部長

最も重要なことは目指すべき方向性を明確にすることであり、各施設で基本計画を策定して最適な運営の在り方を検討する。県内他市においても民間委託の導入は進んでおり視察等で学んでいく。図書館、博物館、公民館、児童センター、青少年活動センター、地区体育館についてそれぞれ検討していく。



広報いるま「公共施設マネジメント」の特集記事